

四国ラグビースクール協議会の確認事項について

平成18年8月に嶺北で行われた、協議会研修会において、下記の事項が検討され、四国大会等での統一ルールとして指導する事が確認（赤字部分）されましたので、各スクールとも周知徹底下さい。

1 スクラムについて

スクラムは以下の要領で組み、押さない。

	高学年	中学年	低学年
組み方	頭を入れて組む	頭を組み合わせない	頭を組み合わせない
オンサイド	ハーフがボールに触ったとき	ハーフがボールに触ったとき	ハーフがボールをパスしたとき

スクラムのボールについて

中学年まではスクラムの後ろに置くが、高学年は転がして入れる（ボールイン）。

ボールのキープはせずに、すぐ出すようにする。

オフサイドについて

デフェンスの時、プッターとパッサーは、スクラムを組んだ、両プロップの腰に、内側の手を体と平行に、真っ直ぐ前に伸ばして触れておくか、スクラムから3メートル後ろの位置までさがる。

2 ラインアウトについて

低学年はタッチラインからボールを味方に投げ入れて開始する。スクラムはしない。

高学年は、ボールを中央に投げ入れ、ボールの奪い合いをする。（リフトアップはしない）

中学年は今までどおりボールの奪い合いはしない（マイボール）

オンサイドは、中高学年ともハーフがボールを受けたときとする

ボックスは、オフサイドライン（5m）まできちんとさがる

3 タックルについて

体の上にタックルしない、特に首へのタックルはしない（練習、試合でも指導）。

ジャージの襟をつかんだ振り回しはしない

脇から上の部分のジャージをつかむこと、タッチライン際でのタッチへの押し出し（突き飛ばし）も危険なプレーとみなしペナルティーを取る。

タックルオフサイドについて

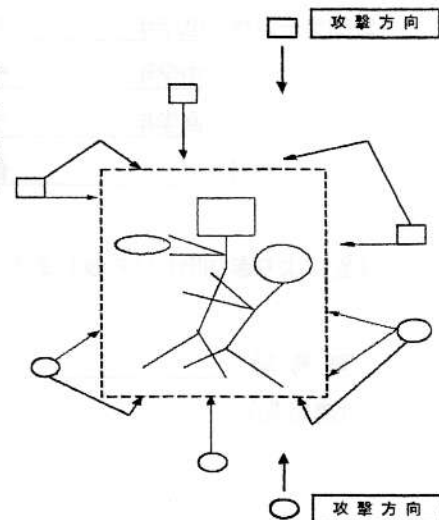
□に○がタックルした場合 破線で囲まれた範囲がオフサイドの範囲となり、□も○も赤線で示す方向へのプレーはオフサイドとなる。必ず自陣側の線から（線まで帰って）プレーしなければならない。（黒矢印線のように）

タックルオフサイドの解消

○タックルされた人のボールが、1アーム（腕の長さ）以上離れた場合

○タックルした（された）プレーヤーが立ち上がってボールをプレーした場合

高学年は、タックルオフサイドをとる。



4 その他について

15メートルライン以外のキックはペナルティーとする。

危険なプレーをしない。（モール等でボールを持った選手が肘を張って体を激しく振り回すなど）。レフリーが危険なプレーと判断した場合は、その場で指導していく。

キックオフ：5・6年はドロップキックとする。